

| | | | | | | | |
|--------------------|--|---|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 生活支援技術IV Independent Living Skills IV | | | ナンバリング No. | J2-007 | | |
| 年次 | 1 年 | 期別 | 後期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 久保 由佳 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程は必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP2 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>身じたくや入浴・身体の清潔保持の意義について学習し、身じたくおよび身体の清潔に関するアセスメント方法や自立に向けた支援のための基本技術を習得する。さらに、利用者の状態・状況に応じた身じたくや清潔保持の援助方法、実施時の留意点について考える授業とする。</p> <p>①身じたくおよび身体の清潔保持の意義について説明できるようにする。 ②身じたくや入浴に関する利用者のアセスメントの視点について、説明できるようにする。 ③利用者の状態に応じた衣服着脱の方法と工夫および留意点について、説明できるようにする。 ④入浴の際の環境整備の要点および入浴に関連した用具を列挙できるようにする。 ⑤衣服着脱や入浴、清拭等の介護における留意点が説明でき、基本手順に沿って安全に援助できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 介護実習室や入浴実習室での演習が主である。教員がデモンストレーションを行った後、グループに分かれて練習する。演習では、利用者役と介護者役の両方を体験し、援助時の留意点を考えながら基本技術を習得できるようにする。単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | 身じたくや身体の清潔保持の意義、入浴が心身に及ぼす影響等をふまえ、利用者の状態や生活状況に応じた支援の方法を選択することができる。 | | | | | |
| | L02 | 利用者の自立やプライバシー等に配慮しながら、基本手順に沿った衣服着脱や清潔の援助を実施することができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。小テスト(実技試験)の結果は、評価点やコメントを記入した評価表を返却する。返却時は解説も行う。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | ①最新・介護福祉士養成講座 第7巻「生活支援技術Ⅱ」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●「こころとからだのしくみⅣ」と関連した科目であるため、復習して授業に臨むこと。●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。なお、授業時間以外の介護実習室使用に関しては別途指示する。●教材以外のものは机上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。 | 10 | | | |
| レポート/作品 | 入浴および清拭演習の振り返りレポートを課す。S 評価は、利用者役・介護者役両面の体験から、感想や学びが具体的に記述されていること。援助時の留意点が列挙されていること。 | | 20 | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | 第 11 回目に衣服着脱介助の実技試験を行う。プライバシーや安全・安楽に配慮し、根拠に基づいた介護が実施できていること。 | | 20 | | |

| | | | | | |
|-----|---|--|----|----|--|
| 試験 | 身じたくや入浴・清潔保持の意義と目的、介護技術、他職種の役割と協働について理解できている。 | | 50 | | |
| その他 | | | | | |
| 合 計 | | | 10 | 90 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 身じたくの意義と目的、身じたくに関する利用者のアセスメント、利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助【講義、DVD 視聴】 |
| | 事前・事後学習 | テキストや生活支援技術マニュアルの該当ページを読む。 |
| 2 | 授業内容 | 自立に向けた身じたくの介護の技法① 座位での着脱介助(前開き上衣)【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P46・47 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 |
| 3 | 授業内容 | 自立に向けた身じたくの介護の技法② 座位での着脱介助(かぶり上衣)、ベッド上臥位での着脱介助【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P52～55 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 |
| 4 | 授業内容 | 自立に向けた身じたくの介護の技法③ ベッド上臥位での着脱介助【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P48～P50 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 |
| 5 | 授業内容 | 自立に向けた身じたくの介護の技法④ ベッド上臥位での浴衣着脱介助 福祉用具の活用【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。 |
| 6 | 授業内容 | 利用者の状態に応じた身体の清潔保持の工夫と介助【講義、DVD 視聴】 |
| | 事前・事後学習 | 授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。 |
| 7 | 授業内容 | 自立に向けた入浴・清潔保持の介護の技法① 入浴の介助(リフト浴、特浴)【演習】 (レポート① 提出:第 8 回) |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P60～P67 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 レポート①を作成する。 |
| 8 | 授業内容 | 自立に向けた入浴・清潔保持の介護の技法② 全身清拭【演習】 (レポート② 提出:第 9 回) |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P74～P77 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 レポート②を作成する。 |
| 9 | 授業内容 | 自立に向けた入浴・清潔保持の介護の技法③ 部分浴(手浴、足浴)【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P68～P73 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 |
| 10 | 授業内容 | 衣服着脱支援に関する生活支援技術のまとめ【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアルの該当ページを読み、手順(具体的方法)や根拠、留意点を確認する。練習用チェックリストを使い、繰り返し練習する。 |
| 11 | 授業内容 | 衣服着脱支援に関する生活支援技術習得の確認・振り返り 小テスト【実技試験】 |
| | 事前・事後学習 | 実技の自己評価表をチェックする。これまでの練習や実技試験を振り返り、不十分だった点やできなかった点を復習(練習)する。 |
| 12 | 授業内容 | 自立に向けた入浴・清潔保持の介護の技法④ 口腔ケア【講義・演習】 |
| | 事前・事後学習 | テキストの該当ページや生活支援技術マニュアル P81～P83 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 |
| 13 | 授業内容 | 自立に向けた入浴・清潔保持の介護の技法⑤ ベッド上での洗髪、クレーパッドの作り方【演習】 |
| | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P78～P80 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 |
| 14 | 授業内容 | 自立に向けた身じたくの介護の技法⑤ ひげやつめの手入れ等【講義・演習】 |
| | 事前・事後学習 | 授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。 |
| 15 | 授業内容 | 身じたくや入浴・清潔保持の介護における他職種の役割と協働【講義】 |
| | 事前・事後学習 | これまでの授業内容を復習する。介護実習に向けて技術を練習する。 |